

国語 第1学年 本はともだち むかしばなしを よもう

検討会の想定問答

指摘 1: ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し: 中心は「知識及び技能」(3)エ「読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること」。それをC(1)カの、読んで感じたことの共有と、B(1)ウの、文と文の続き方に注意してカードを書く活動の中で指導する。本時はC(1)カの時間で、好きなところとわけを友達と比べる。

指摘 2: 知識及び技能の事項が中心なのに、本時が思考・判断・表現の時間なのはなぜか。

返し: 第3の1(3)に、「知識及び技能」に示す事項は「思考力、判断力、表現力等」に示す事項の指導を通して指導することを基本とするとある。(3)エの読書に親しむことは、好きなところを伝え合い、友達のわけを聞いて読みたい本が増える経験の中で身に付ける。本時はその経験の中心になる時間。

指摘 3: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。読むことと書くことの二つにまたがるので、思考・判断・表現の規準の頭に「書くこと」「読むこと」を付けた。知識・技能①は第2・8時の読書記録、思考・判断・表現①は第5～7時のカード、②は本時のワークシートと第8時の付箋、態度①は第1・7・8時で見る。

指摘 4: 言語活動は何か。

返し: 読むことではC(2)イ「読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動」、書くことではB(2)イ「日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動」。昔話を読んで好きなところを伝え合い、友達に知らせるカードを書く。

指摘 5: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: わけが言えない子には、先生が「どこが」「どうして」と聞き返し、話した言葉を書き取って見せる。書くのが難しい子は、話すことを先にして、ワークシートは「…ところ」だけでもよいことにする。本を一人で読むのが難しい子には、読み聞かせで読んでもよいことにする。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 6: ICTは使わないのか。

返し: 本時は、場面の絵と名前の札で、だれがどこを選んだかを黒板で見せる方が1年生には分かりやすいので、紙を基本にした。第8時に、紹介カードを端末で写真に撮って大型画面で見せ合うことはできる。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。

指摘 7: 教科書の「おかゆのおなべ」だけを読めばよいのではないか。

返し: この単元の中心は(3)エの「いろいろな本があることを知ること」なので、教材は入り口として使い、第2時と第6時で学校図書館の昔話の本を選んで読ませる。第3の2(3)は、学校図書館などを目的をもって計画的に利用し、本などの種類や配置、探し方について指導するとしている。

指摘 8: 8時間で本を選んで読み、カードまで書けるのか。

返し: 8時間は光村図書の年間指導計画例の配当（書くこと4・読むこと4）に合わせた。昔話の本を読む時間は、朝の読書や学校図書館の時間と重ねると取りやすい。第3の1(6)は、(3)エに関する指導で、日常の読書活動を活発に行うようにすることを求めている。

指摘 9: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「ともだちの すきなところは、じぶんと おなじでしたか。ちがいましたか」の一つ。「すきなところはどこですか」は話し始めるための問い、「わけは おなじでしたか」は全体で比べる時の補助の問い。全体には中心発問とめあてだけを板書する。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：場面の絵をお話の順に貼り、絵の下に好きと言った子の名前の札を貼る。だれと同じ場面を選んだかが一目で分かり、C(1)カの「共有」を目に見える形にする。同じ場面でもわけが違うことは、中央にわけを並べて書いて確かめる。

指摘 11：外国の昔話なのに、我が国の言語文化の事項（(3)ア）を扱わないのか。

返し：この単元の中心は(3)エの読書で、教材は世界の昔話の一つである。第2時と第6時に日本の昔話を選んだ子には、(3)アの「昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと」とつながることを、読書記録に日本の昔話の印を付けるなどして示す。教材の観点としては、第3の3(2)コ「世界の風土や文化などを理解し、国際協調の精神を養うのに役立つこと」にも当たる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第1学年及び第2学年〕2内容〔知識及び技能〕(3)ア・エ、C読むこと(1)イ・カと(2)イ、B書くこと(1)ウと(2)イ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

